乳酸菌 *L.gasseri* PA-3 を含有するヨーグルト摂取が 高尿酸血症・痛風患者の血清尿酸値に与える影響に関する検討

山中 寿¹⁾ 谷口 敦夫¹⁾ 坪井 洋²⁾
狩野 宏²⁾ 鎌谷 直之¹⁾

背景・目的

血清尿酸値は、尿酸の産生と排泄のバランスにより左右されるため、経口的に食物から摂取するプリン体の量により影響を受ける。そのために、食物から摂取するプリン体量をコントロールすれば、高尿酸血症や痛風の予防につながる可能性がある。我々が選択した乳酸菌 *Lactobacillus gasseri* PA-3 (以下、*L.gasseri* PA-3) はプリンスクレオシダーゼ活性が高く、さらにプリン塩基やヌクレオシドを菌体内に取り込むことが *in vitro* で確認されている。したがって、乳酸菌 *L.gasseri* PA-3 は腸管内でプリン体を分解・吸収し、腸管からのプリン体の吸収を低減させる可能性がある。我々は既に *L.gasseri* PA-3 含有ヨーグルトが血清尿酸値高めの健常者集団の血清尿酸値を低下させることを報告したが、本仮説を検証するため、高尿酸血症・痛風患者に対する乳酸菌 *L.gasseri* PA-3 摂取の効果について検証した。

方 法

東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センターへ通院中の高尿酸血症・痛風患者で同意が得られた25名について、服用中の薬剤を4週間中断後、*L.gasseri* PA-3 含有ヨーグルト13名、*L.gasseri* PA-3 非含有ヨーグルト(対照ヨーグルト)12名に無作為に割り付けて、試験食品を8週間摂取させ、試験期間中の血清尿酸値を測定した。なお本試験は東京女子医科大学倫理委員会にて承認されたものである。

結 果

ITT (Intention-to-treat) および PPB (Per Protocol Based) で尿酸値に関する群間差は認められなかった。しかし、試験食品摂取期間前の血清尿酸値が Mean $\pm$ SD の母集団17名で層別解析したところ、試験食摂取期間前後における尿酸値の変化率は *L.gasseri* PA-3 含有ヨーグルト群は、対照ヨーグルト群に対し有意に低かった ($P = 0.0342$)。

考 察

L.gasseri PA-3 含有ヨーグルトは、高尿酸血症・痛風患者においても血清尿酸値を改善する可能性が示唆された。

- 1) 東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センター
- 2) 株式会社 明治 研究本部 食機能科学研究所

Hisashi Yamanaka, Atsuo Taniguchi,
Naoyuki Kamatani
Hiroshi Tsuboi, Hiroshi Kano